資料№.９	経済建設常任委員会所管事務報告資料 令和８年10月７日【経済部花と緑・観光課】

第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会の開催結果について

令和 8 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）に開催した第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会について、その開催結果を報告いたします。本大会には、全国各地から花のまちづくりに携わる多くの方々にご参加いただきました。

1. 開催結果概要

項目	内容
開催日	令和 8 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）
会場	恵庭市民会館 大ホール、花の拠点はなふる ほか
テーマ	～はなふる恵みの庭～ いま、花のはなしをしよう
主催	恵庭市、第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会、花のまちづくりコンクール推進協議会

2. 参加状況（実績）

（1）大会式典

区分	実績	備考
会場参加者	437 名	うち市外参加者 223 名（51%）
Web ライブ配信	961 名	うちアーカイブ配信 447 名
延べ到達者数	**1,398 名**	会場+配信の合計

（2）交流会・現地見学会

区分	実績	定員
交流会	113 名	100 名
現地見学会	69 名	70 名

3. 大会プログラム実施状況

（1）大会式典（6 月 27 日 12:40～17:00）

① オープニングアトラクション（12:40）

恵庭すずらん踊り保存会と恵庭岳太鼓保存会によるオープニングアトラクションを実施し、恵庭の郷土芸能を全国に発信しました。

② 開会宣言・主催者挨拶（13:15）

開 会 宣 言：第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会 副会長 田村 哲夫 氏

主催者挨拶：第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会 会長 原田 裕 氏

花のまちづくりコンクール推進協議会 会長 大橋 徹二 氏

③ 来賓紹介・祝辞（13:15）

来 賓 紹 介：衆議院議員 和田 義明 氏、衆議院議員 吉田 有理 氏、北海道議会議員 田中 芳憲氏、北海道議会議員 早坂 貴敏 氏、恵庭市議会議長 川原 光男 氏、国土交通省大臣官房審議官 出口 陽一 氏、北海道建設部まちづくり局長 今井 健 氏

祝　　辞：衆議院議員 和田 義明 氏

④ 基調講演（13:35）

講　　師：NPO 法人 GreenWorks 代表理事牧野ふみよ氏

テ　ー　マ：「全国を駆け回る私が見たコミュニティガーデンのヒミツ」

→ 全国各地のコミュニティガーデンの事例を交え、花や庭が人と人をつなぎ、地域への愛着と誇りを育むことが紹介されました。活動を持続するには、誰もが無理なく参加し、自分たちで考えながら楽しめる仕組みが重要であることや、恵庭に根付く人と花との関係性が、花のまちづくりを支えていることが語られました。

⑤ 事例発表（14:30）

恵み野中学校生徒会

東神楽町建設水道課花のまちづくり推進室

恵庭市経済部花と緑・観光課

→ 地域の特色を生かした活動、多様な主体の連携、担い手の育成及び次世代への継承など、活動を継続・発展させるための知見が報告されました。

⑥ トークセッション（15:30）

テ　ー　マ：「いま、花のまちづくりの未来を話そう」

モデレーター：北海道大学大学院農学研究院 教授 愛甲 哲也 氏

特別パネリスト：NPO 法人 GreenWorks 代表理事 牧野 ふみよ 氏

パネリスト：恵庭市フラワーマスター協議会/はなふるガーデナー 会長 土谷 美紀 氏

生涯学習コーディネーター 水野 みどり 氏

生活支援コーディネーター/市民活動コーディネーター 小隅 麻美 氏

→ 花のまちづくりの効果や今後の課題について意見を交わしました。

⑦ ガーデンツーリズム登録証交付式（16:30）

愛知県の「愛知サムライガーデン（あいち歴史観光推進協議会）」が新たに登録されました。

⑧ 次期開催地挨拶（16:50）

京都府亀岡市長桂川孝裕氏から、第 33 回全国花のまちづくり亀岡大会（令和 9 年 5 月 22 日・23 日開催予定）についての挨拶をいただきました。

⑨ 閉会（17:00）

花のまちづくりコンクール推進協議会 会長 大橋 徹二 氏が閉会の挨拶を行いました。

4．大会の成果

本大会を通じて、花のまちづくりは、美しい景観の形成にとどまらず、人のつながりを育み、地域への愛着や誇りを高め、まちの魅力や活力の向上につながる取組であることを改めて確認しました。

（1）ネットワーク構築と市民参画の拡大

関連事業を含め、大会の開催・運営には多くの市民、関係団体、企業、学生等が参画し、地域全体で来訪者を迎えたことで、「花のまちづくり」の活動が広がるとともに、関係者のネットワーク構築につながりました。

また、花が年齢や体力、言葉、文化の違いを越えて、誰もが得意なことを生かし、無理なく地域に関われる共通のきっかけとなることが確認されました。

（2）ガーデンツーリズム制度の活用

ガーデンツーリズムは、地域の活性化と庭園文化の普及を図るため、各地域の複数の庭園をつなげ、連携して、魅力的な体験や交流の場を創っていく取り組みです。

（3）関連事業の波及効果

同時開催の第 37 回恵庭花とくらし展（ガーデンフェスタ恵庭 2026）には 26,049 人の来場があり、ステージイベント、飲食物販、ワークショップ、ガーデンツアーなど多彩なプログラムが実施されました。市内飲食・物販への波及が期待されます。

5．今後の取り組み

本大会を通じて得られた知見や気付きを生かし、恵庭市の「花のまちづくり」を育み、将来にわたって継続していくため、市民、活動団体、企業、学校、行政等の連携を一層深めながら、取り組みを進めていきます。

また、活動を支える担い手の確保・育成と次世代への継承を推進するとともに、幅広い世代が花のまちづくりに参加できる環境づくりを進めます。さらに、市民、活動団体、企業及び行政がそれぞれの役割を生かし、互いに支え合いながら活動を継続できるよう、持続可能な連携体制の構築と、各主体の活動に寄り添った伴走型の支援を展開していきます。

6．実行委員会の事業費

実行委員会における実質的な事業費は以下のとおりです。

（1）支出内訳（2 カ年合計）

区分	令和 7 年度	令和 8 年度	合計
総務費	337,119 円	30,632 円	367,751 円
事業費	1,113,860 円	6,248,596 円	7,362,456 円
広報費	1,060,950 円	1,019,832 円	2,080,782 円
会場装飾費	0 円	2,071,671 円	2,071,671 円
合計	**2,511,929 円**	**9,370,731 円**	**11,882,660 円**

（2）収入内訳（2 カ年合計）

区分	令和 7 年度	令和 8 年度	合計
開催地負担金	1,900,000 円	3,520,660 円	5,420,660 円
地域づくり総合交付金	1,100,000 円	3,100,000 円	4,200,000 円
協賛金等	301,000 円	700,000 円	1,001,000 円
うち広告収入	300,000 円 （2 件）	600,000 円 （2 件）	900,000 円 （4 件）
うち寄付金	1,000 円 （1 件）	100,000 円 （1 件）	101,000 円 （2 件）
参加費	0 円	756,000 円	756,000 円
うち交流会参加費	―	618,000 円	618,000 円
うち現地見学会参加費	―	138,000 円	138,000 円
補助金	0 円	500,000 円 （1 件）	500,000 円 （1 件）
雑入	3,492 円	1,508 円	5,000 円
合計	**3,304,492 円**	**8,578,168 円**	**11,882,660 円**

7．市の財源負担と企業版ふるさと納税による支援

本大会の市の主な財源負担及び企業版ふるさと納税による支援は以下のとおりです。

区分	令和７年度	令和８年度	合計
開催地負担金	1,900,000 円	3,520,660 円	5,420,660 円
企業版ふるさと納税	500,000 円 （1 件）	1,000,000 円 （1 件）	1,500,000 円 （2 件）
市の実質負担	**1,400,000 円**	**2,520,660 円**	**3,920,660 円**

8．実行委員会の解散予定

時期	内容
令和９年１月頃	補助金の交付及び収支の確定
収支確定後	令和８年度収支決算書の作成及び監査
監査終了後	書面決議により収支決算の承認、監査報告、残余財産の処理、実行委員会の解散